

スギナミ・ウェブ・ミュージアムの取組状況について

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた「おもてなしプロジェクト」の一環として、令和2年10月に開設した仮想美術館「スギナミ・ウェブ・ミュージアム」の取組状況について、以下のとおり報告します。

1 事業の概要

スギナミ・ウェブ・ミュージアムでは、恒常的に区の文化・芸術を紹介する「常設展」、区の魅力を広く発信するための「企画展」及び区民の文化活動の発表の場として貸出を行う「区民展」の3つの展示を随時実施している。

2 令和3年度の取組状況

常設展	荻窪ゆかりの世界的版画家・棟方志功を知るビギナー向け展示
	【展示期間】令和2年12月15日～令和3年11月30日 【内容】荻窪駅そばにアトリエ兼自宅を構えた棟方志功の版画の世界に触れられる180点あまりの作品のデジタル展示を実施。
企画展	U22クリエイター展（中学1年生から22歳の若年者公募作品の選考会・展示会）
	【展示期間】令和3年9月下旬～令和4年1月31日 【内容】区在住・在勤・在学中の中学1年生から22歳を対象に作品を公募し、応募があった22組の作品について5名の審査委員による公開選考会を実施（8月27日）。その結果選考された20組の作品についてデジタル展示を実施。
区民展	かるたで広がるパキスタン・ウズベキスタンの世界
	【展示期間】令和3年8月2日～11月10日 【内容】東京2020大会を契機に、杉並区がホストタウン国として締結したパキスタン、ウズベキスタンの両国について学び、友好を深めるために、区民や両国の関係団体の方々と制作した「かるた」と「紙芝居」のデジタル展示を実施。
その他	・杉並にゆかりのある文化人・芸術家の活動の軌跡を記録した映像15作品を掲載 ・区に関連した文化・芸術書籍の紹介や各種アートに関するイベント情報の発信。

3 その他

本事業の取組状況については、区ホームページやSNS等により情報発信する。また、原則として月1回開催している区民参加型の文化振興会議「アート・ファン・ミーティング」に参加した区民等と本サイトへのアクセス数の向上に向けた意見聴取及び情報交換をしながら、事業の推進を図っていく。

▼常設展「津軽海峡の柵」昭和40年/木版/棟方志功記念館所蔵



▼企画展U22クリエイター展の様子



【公開選考会審査員】

- ・ 矢島 進二氏 (日本デザイン振興会理事)
- ・ マシュー・チョジック氏 (アート系出版社経営)
- ・ 時田 貴司氏 (株スクエア・エニックス)
- ・ 船山 千尋氏
(イタリア美術品修復学校の日本事務局を運営)
- ・ 田森 亮 (文化・交流課長)

▼区民展パキスタン・ウズベキスタンの世界

